

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームよしの村

作成日 平成 26 年 12 月 1 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	利用者の背景を探りきれない為、ひとり一人の自分らしい生活を多面的に組み立てることや、尊厳を守ることが十分でない。	○これまでの暮らしの把握 ひとり一人の生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める。	①日々のかかわりの中で知り得た情報を[関係継続のための情報]ファイルに記録する。 ②年一回、家族、担当スタッフを交えた担当者会議を設け、現在の状況、過去の様子、将来への希望を話す機会を持ち、記録する。	1年間
2	48	利用者がニーズを表出してもそれが叶えられる機会が少なくなっていた。また、それぞれが力を発揮する役割への支援が継続的にできないことが多かった。	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、ひとり一人の生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援を計画することができる。	①プライバシーを意識したケアの徹底によりその方が尊重されている安心感と喜びを持つことで力を発揮させる。 ②利用者が思い通りに過ごす時間を支援する日を設けてやりたい事やいきたい場所を引き出す。 ③決められた選択肢だけでなく、より自由な発想で利用者と家族や地域が交わる機会を活用し、活動参加意欲を向上させる。	1年間